

2003年5月26日宮城県沖の地震の被害

＜宮地 良典・木村 克己＞



1. 火山灰質な埋立土の地すべり(築館町西小山). 小規模な開発には、丘陵地の火山灰質な土砂を埋立に使っている. このような火山灰質な土砂は水分を含みやすく地滑りを起こしやすい. この写真は頂部から見下ろしたもの.



2. 水田に流入した地すべり. 1.と同じ地すべりの麓では地すべり塊が電柱や竹林を載せたまま水田に流入している.



3. 強い揺れによって剪断破壊を受けた新幹線橋脚. 日詰駅付近の橋脚は写真のように剪断破壊を受けている.



4. 新幹線橋脚の揺れによって開いた地面(日詰駅南にて). 日詰付近では新幹線橋脚に被害が見られたが、この付近では橋脚の東西で地面との間が開いており、東西の強い揺れによって橋脚が破壊したことを示唆している.